

# 次世代育成支援としての妊娠出産支援のあり方に関する調査研究 【研究要旨】

## I. 目的

本研究の目的は、分娩を取り扱っている全国の病院、診療所、助産所において、正常分娩に焦点をあて、

- 1) どのようなサービスがどのような料金設定で行われているか
- 2) 施設設備やサービスの質の向上のための取り組みがどのように行われているかを明らかにすることである。

このことより、わが国における出産施設における実態を明らかにし、今後の次世代育成支援としての妊娠出産支援のあり方を検討する上での基礎資料を得ることを目的とした。

なお、本研究において、正常分娩とは、分娩の三要素である、娩出力（陣痛、腹圧）、産道、娩出物（胎盤、胎児等）が揃い、医療介入を必要としないものとする。

## II. 方法

期 間：平成 18 年 11 月～12 月

方 法：調査票の郵送配布、郵送回収による調査を実施した。

対象施設：病院検索総合サイト「ここカラダ」(<http://www.cocokarada.jp/hospital/index.html>)産科として登録している全国の病院と診療所の 5,582 施設、助産所に関しては、(社)日本助産師会「全国助産院マップ 2004 年度版」に掲載されている有床助産所 206 施設を対象とし、合計 5,788 施設に対して調査を行った。

内 容：スタッフ数、分娩数、出産後の母児の部屋や面会時間、母親教室や沐浴、退院指導、外来及び入院に関する価格、独自のサービス、自由記載など（詳細は調査票参照）について調査を行った。

## III. 結果

### 1. 回収状況

調査票を配布した 5,788 施設（病院・診療所 5,582 施設 助産所 206 施設）のうち、644 施設から回答を得た（回収率 11.1%）。そのうち有効回答 367 施設を分析の対象とした。

本研究における結果においては、アンケートに回答いただいた施設に偏っている可能性に留意されたい。

### 2. 回答施設の属性

病院 42 施設 診療所 250 施設 助産所 75 施設であった。

### 3. 結果

#### 1) サービスと値段設定

- ・正常分娩で 6 日間入院し、平均総額は約 36 万円であった。
- ・外来における初診料は平均約 4,700 円であった。
- ・外来における再診料は平均約 2,900 円であった。
- ・外来における妊婦健診の料金は、平均約 4,000 円であった。

- 妊娠中の超音波検査1回の検査費用は平均約1,600円であった。
- 正常分娩で一般室使用での夜間における分娩料金の加算は、平均約1万円であった。
- 正常分娩で一般室使用での深夜における分娩料金の加算は、平均約2万円であった。
- 沐浴指導は85.8%の施設で実施しており、そのうち77.8%が無料で、最小価格は3,000円、最大価格は5,000円であった。
- 助産師外来は29.4%の施設で実施しており、そのうち42.6%が無料で、最小価格は300円、最大価格は7,000円であった。
- 退院後の家庭訪問は23.4%の施設で実施しており、そのうち50.6%が無料で、最小価格は3,000円、最大価格は15,000円であった。
- 母親教室、沐浴教室、母乳外来などのサービス項目15をサービス数とし、サービスの数を施設類型毎に比較したところ、診療所は施設による差異が大きい、助産所は概ね多くのサービスを実施していた。
- 自由記載においては、産前産後のエクササイズ、ベビーマッサージ、各種教室、出産前後の家族の支援、サークル活動に至るまで、さまざまなサービスが無料から有料まで差はあるものの実施されていた。

## 2) 施設設備やサービスの質の向上のための取り組み

- 陣痛室と分娩室が一緒になっている施設は40.5%であった。
- 立会い分娩を行っている施設は93.2%であった。また、立会い者を制限していない施設は63.6%であった。
- 個室の部屋には、冷蔵庫が93.7%、テレビが91.4%、ソファーセットが76.5%整備されていた。
- 母児同室を行っているのは64.4%、半母児同室を行っているのは23.6%であった。
- 自由記載においては、母乳哺育、親支援・育児支援、快適なお産への支援、アメニティ（生活環境の快適さ）、特殊外来・検査、接遇等、安全・セキュリティー・管理等においてそれぞれの施設が工夫をしながらサービスを行っていた。

## IV. まとめと今後の課題

- 正常分娩で6日間入院し、平均総額は約36万円であった。
  - 外来における初診料は平均約4,700円であった。
  - 外来における妊婦健診の料金は、平均約4,000円であった。
  - 沐浴指導は85.8%の施設で実施しており、そのうち77.8%が無料で、最小価格は3,000円、最大価格は5,000円であった。
  - サービスの数を施設類型毎に比較したところ、助産所は概ね多くのサービスを実施していた。
- 本研究における結果においては、アンケートに関して積極的に回答いただいた施設に偏っている可能性があり、全国を反映しているとはいえない。
- 出産施設そのもののデータベースが整備されておらず、施設における診療科も産科、婦人科、産婦人科という表示が重複され表示されている。また、産科と表示されいても、実際には分娩を取り扱っていない施設もあり、診療科別の表示のみならず、出産施設という表示も必要であり、これらの整備は今後の課題であろう。